

薩摩街道出水筋街道歩行(伊集院駅 ~ 西田橋編) その2

その1から



チェスト館を出発して、しばらく歩きます。かつて、街道沿いには、茶屋、そば屋、米屋、焼酎屋、油屋など大抵の店は揃っていたそうです。



No9地点 横井の三叉路



この辺りは、部分的に横井街道(ヨケンケド)と呼ばれていたそうです。



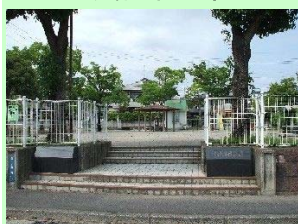
途中、小休憩。さすがに、子ども達は疲れた様子。



武岡台高校を過ぎて、ここから右へ。



No10 武岡台公園



出発地点からここまで約14.4キロメートル

ここで休憩。



No15(最終)地点 西田橋

出発地点からここまで約18.2キロメートル



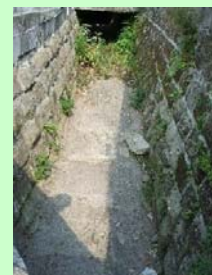
午後4時、歩行開始から約6時間でようやくゴールの西田橋に到着。皆さん、清々しい顔で記念撮影に収まりました。



江戸時代の地名が残るバス停。当時この辺りは、東ノ丁、中ノ丁、西ノ丁に分かれていたようです。



No14 石張水路



日枝神社から少し行ったところに、石を敷きつめた当時の水路が、現在も残っています。



No13 日枝神社



水上坂を下ってすぐ右手にある「日枝神社」。参勤交代の際は、旅の平安を祈願し、発着当日は、神楽を奏していたそうです。



武岡台小学校と原良配水池の脇を通りながら、進みます。



交差点を過ぎて、2つ目を左折します。



しばらく道なりに歩き、この地点で合流。



ゆるやかな下り坂が続きます。



No11 水上坂峠



水上坂は、出水筋の最初の宿駅です。ここは、長旅を心配し、親族、同僚が見送った宿駅であり、喜びの再開をした場所だそうです。



No12 江田屋敷跡



江田家は、新番という中級武士でした。薩英戦争、西南の役、太平洋戦争の戦火を逃れた屋敷は大変貴重でしたが、近年取り壊されて現存していません。



No12 「御装束の門」屋敷跡



藩主が装束を改めた「御装束の門」屋敷跡の石垣が、現在も残っています。



阿弥陀井戸
水上坂にある水場で、参勤交代の藩主の小休止の時のお茶たてや旅人の送迎のお茶用に使われたそうです。



太鼓橋跡
当時を偲ばせる橋の欄干が、残っています。



水上坂を下ります。かなり急な下り坂です。

